京都大学On-site Laboratory「京都大学・中国医薬大学研究施設」

基本情報

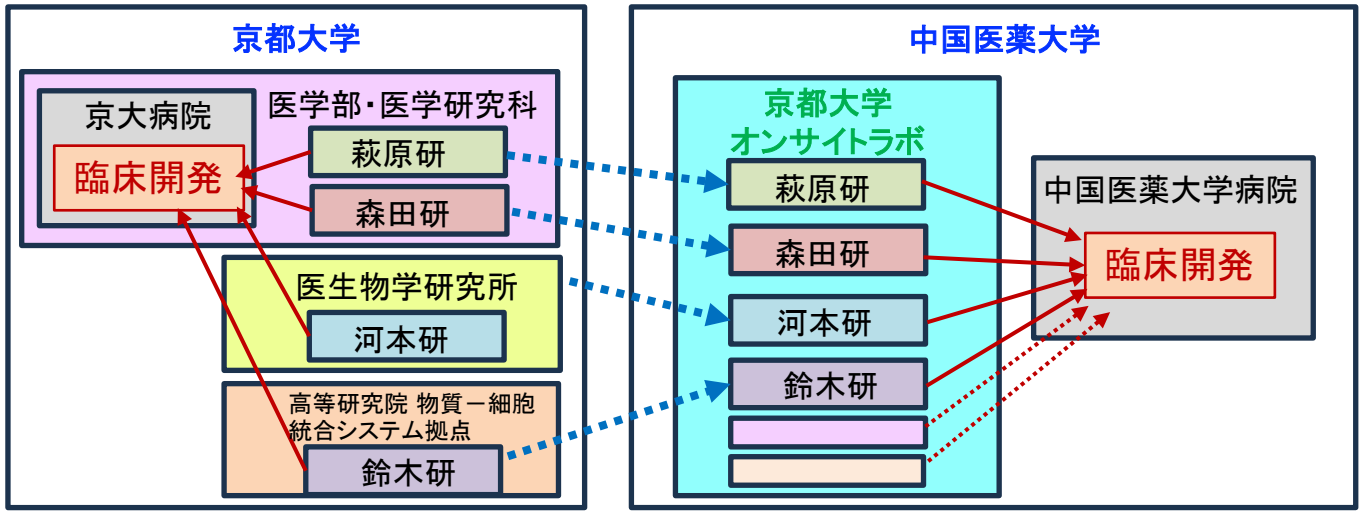
- ◆ 実施部局：医学部・医学研究科、医生物学研究所、高等研究院 物質ー細胞統合システム拠点
- ◆ 相手方機関：中国医薬大学
- ◆ 設置（予定）時期：2024（令和6）年10月
- ◆ 設置場所：台湾　台中市
- ◆ 設置タイプ：アウトバウンド型
- ◆ 設置目的：各種臨床試験の促進・臨床応用に向けた新規戦略の共同開発
- ◆ 教育研究活動内容：京大発の薬剤や技術を用いた臨床試験を、オンサイトラボを介して中国医薬大学に移管し、臨床試験を施行する。オンサイトラボでは、単に技術移管するにとどまらず、さらなる技術開発や、対象疾患を拡大するための非臨床試験などの共同研究も進める。

期待される波及効果

- ・京大発の薬剤や技術を用いた臨床試験を中国医薬大学病院で施行することができる。
- ・臨床試験の参加症例数を効率よく増やすことができ、さらにグローバルな開発の橋頭堡になる。
- ・中国医薬大学にとっても京大のマテリアルや技術をベースにした共同開発ができるメリットがある。
- ・研究交流により学際的な発展が期待できる。

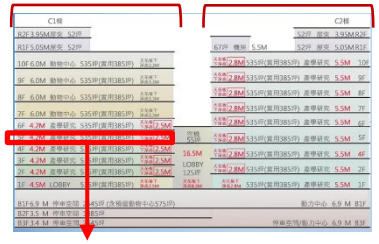
活動概要

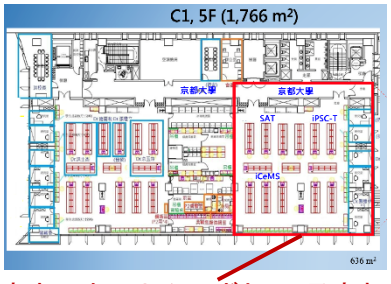
- ・場所（建物とその中のラボスペース：636m²）は準備されている（右図）。
- ・現在活動実績のある3チームと新規参加の1チームの計4チームの参加が計画されている。
- ・今後もオンサイトラボの新規参入は可能。
- ・全体を代表して管理する常駐PIを京都大学と中国医薬大学のクロスアポイントメントで雇用する。



水滴キャンパス C1/C2ビル

共同研究棟　産学連携棟





京大のオンサイトラボとして予定されているスペース（ 636m² ）